

--	--	--	--	--	--	--

08-C50-1		クリニカル・パス			
パス名	乳房切除術	外来 医師		主治医	
		外 来 看護師		病 棟 看護師	

氏名 男・女

目 標

心身ともに安定した状態で手術が受けられ、術後合併症を起こすことなく経過する。
容貌の変化を受容し、退院後の日常生活に必要な知識が得られ、早期に社会復帰できる。

術後C P

術後出血、感染、神経障害、リンパ還流障害、ROM制限

月日経過	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
手術前日 入院時間(:)	当日(術前)	当日(術後) 帰宅時間(:)	手術後1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目以降病状により分岐
手術に対する不安が最小限となる		創部、ドレーンからの出血が少量である(200ml以内) ドレーンの吸引状態が良好である 創部周辺の血腫(膨張)がみられない 患側上肢の神経障害がみられない 肺合併症の徴候がみられない		ドレーンの排液が漿液性に移行する 患側上肢の肌力を積極的に実施できる (前方・後方挙上、内転、外転)		リンパ浮腫がみられない 創部、ドレーン挿入部の感染徴候がみられない		両上肢垂直挙上ができる 手術後、日常生活上の注意事項が理解できる	
動脈血液ガス分析 ROM測定 (側方挙上)			血液検査(術後1) 下肢より採血 胸腺シグン					ROM測定 (側方挙上)	
指示食 21時以降絶飲食	絶食		昼より術前の指示食開始						
体温		体温							
脈拍 /min		脈拍 /min							
血圧 mmHg		血圧 mmHg							
便		便							
創出血		創出血							
除毛(腋窩)	血圧測定は患側と反対側の 上肢で	上肢しびれ 腫脹 ドレーン排液 尿量							
	ネグド記入、下肢に装着 ゲルシワシワ 120ml 手術室にて バルーンカテーテル挿入	時 分 帰宅 酸素 6L 40% (術後16時間) 術後VS観察は 経過観察表に記載	創管理() バルーンカテーテル抜去	創管理()	創管理()	創管理(術後4~6日目)	創管理(術後4~6日目)	創管理(術後4~6日目)	創管理()
眠前内服薬 アモバン 1錠 ブルセニド 2錠	前投薬 硫酸アトロピン 1A ドルミカム 1/5A 施行 : 留置針 18G 挿入 ヴィーンF 500ml (患肢と反対側上肢) 生食 100ml セフメタゾン 1g (手術室持参)	ヴィーンD 500ml ソリタT3 500ml ヴィーンD 500ml ソリタT3 500ml (80ml/h) 生食 100ml セフメタゾン 1g (病室6時間後) 終了後ロック	生食 100ml セフメタゾン 1g (朝) 終了後留置針抜去 フロモックス 3錠 ロキソニン 3錠 ウルグート 3錠 分3食後	フロモックス 3錠 ロキソニン 3錠 ウルグート 3錠 分3食後	フロモックス 3錠 ロキソニン 3錠 ウルグート 3錠 分3食後				
制限なし 入浴	床上安静 洗面確認後 手術着に着替える	患肢のみ安静 リハビリ ボールにぎり ジャンケン 手首・肘の上下	病院内歩行可 上半身清拭、下半身シャワー リハビリ(主治医の指示で開始) 肘の上下 反対側の肩をタッチ 肩をすくめる 首の前左右、横ひねり (朝、昼、夕)	リハビリ 壁は高さ(cm) 後ろ手で上下左右 腕ふり ひねり (朝、昼、夕)	上半身清拭、下半身シャワー リハビリ(朝、昼、夕) 壁は高さ(cm) 後ろ手で上下左右 腕ふり ひねり	シャンプー リハビリ(朝、昼、夕) 壁は高さ(cm) 後ろ手で上下左右 腕ふり ひねり	上半身清拭、下半身シャワー リハビリ(朝、昼、夕) 壁は高さ(cm) 後ろ手で上下左右 腕ふり ひねり	リハビリ(朝、昼、夕) 壁は高さ(cm) 後ろ手で上下左右 腕ふり ひねり	リハビリ(朝、昼、夕) 壁は高さ(cm) 後ろ手で上下左右 腕ふり ひねり
医師より説明 手術同意書 入院治療計画 麻酔科医より説明 麻酔問診表 看護師より説明 入院生活について 術前オリエンテーション (オリエンテーション用紙に基づいて) 手術物品確認(片胸帯)		医師より説明 家族に手術結果	医師より説明 本人に手術結果 薬剤師より説明 薬剤管理指導						医師より説明 病理結果により補助療法 について 看護師より説明 下着の補正について (補正製品の紹介) 療養生活について 次回外来受診日 月 日 時 分
追加・備考	血液検査チェック 術後1日目 初期対応 基準寝具	手術が午後の場合 術前輸液 ヴィーンF 500ml (要処方箋)	疼痛、発熱時 ボルタレン座薬 25mg (要処方箋) 酸素継続の場合は要処方箋	処置した場合 処置薬記入すること					
パリア ンス									
巡視									
署名									

乳癌の手術を受けられる
































様へ

目標

心身ともに安定した状態で手術が受けられ、術後合併症を起こすことなく早期に社会復帰できる。

説明医師

看護師

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	手術前日	当日術前	当日術後	術後1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
検査	血液の検査を行います 肩の動く範囲の測定 			血液の検査を行います 胸部のレントゲン  					肩の動く範囲の測定	
食事	21時以降は絶飲食となります	絶食です 		昼食から食事開始となります						
処置	除毛をします	ネームバンドに氏名を記入してください看護師がつけます 浣腸を行います 手術前に尿管を挿入します(手術室にて)	術後、翌朝まで酸素マスクがついています	歩行可能な方は尿管を抜去します 創の処置を行います	創の状態を確認します	創の状態を確認します	創の状態を確認します 創の状態がよければドレーンを抜去します(4~6日目)			
注射	就寝前に下剤と睡眠薬を服用します 	手術前に注射と点滴を行います  	手術後の点滴があります 	点滴が朝にあります 終了後に針を抜去します 						
内服		点滴用の針を挿入します	痛み、むかつきなどがあれば看護師に申し出てください	痛み止め、抗生剤などの内服を開始します 						
行動	制限ありません 入浴可  	洗面後、手術着に着替えてください 	床上安静となります 患肢は翌朝まで安静にし、体の下にしないでください 	歩行可 上半身の清拭をします 下半身のみシャワーできます  	主治医の指示によりリハビリを開始します 		上半身の清拭をします 下半身のみシャワーできます 	シャンプーできます 	上半身の清拭をします 下半身のみシャワーできます 	
説明	医師より手術と治療計画についての説明 担当麻酔科医師より麻酔についての説明 		医師より家人の方に手術結果の説明 	医師より本人に手術結果の説明 						医師より病理結果により補助療法治療についての説明 
	看護師より説明 入院生活についてパンフレットについて 			薬剤師よりお薬についての説明 						看護師より説明 療養生活について下着の補正について(補正製品の紹介) 

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。